

# ABIT AC11

通信およびネットワークライザー

インストールガイドおよびユーザズマニュアル

---

---

## 著作権および保証の通告

---

本ドキュメントの情報は予告なしに変更されることがあり、ベンダーの側の責任を表明することはありません。また、ベンダーはこのマニュアルに表示される誤りについて責任を負うこともありません。

本ドキュメントの品質、正確さ、特定目的への適合性に関しては、明示的であれ黙示的であれ、何の保証や表示を行うことはありません。いかなる場合でも、メーカーは本マニュアルや製品の欠陥や誤りから生ずる損害に対して、直接損害、間接損害、特別損害、偶発損害であろうとも、一切責任を負わないものとしします。

本マニュアルに記載されている製品名は識別の目的のためだけのもので、本ドキュメントに記載されているトレードマークや製品名、またはブランド名はそれぞれ所有者に帰属します。

本ドキュメントには、国際著作権法の元で保護されているマテリアルが含まれています。全ての権利は留保されています。本マニュアルのいかなる部分も、メーカーおよび本マニュアルの著者の書面による事前の許可なしには、コピー、伝送、または転記を行うことができません。

本製品の設定を適切に行わなかった結果、製品が誤動作を行ったり停止することがあっても、当社はいかなる責任も負いません。

---

---

---

---

# AC11 CNR カードユーザーズマニュアル

## 索引

---

<b>第1章</b>	<b>はじめに.....</b>	<b>1-1</b>
1-1.	仕様 .....	1-1
1-2.	梱包を開ける (パッケージリスト).....	1-5
<b>第2章</b>	<b>ハードウェアの取り付け.....</b>	<b>2-1</b>
2-1.	カードのレイアウト.....	2-1
2-2.	コネクタおよびヘッダ.....	2-2
2-3.	カードの取り付け .....	2-3
2-4.	電話線をモデムに接続する.....	2-4
<b>第3章</b>	<b>ドライバのインストール.....</b>	<b>3-1</b>
3-1.	WINDOWS 98 SE に対して HOME PNA ドライバをインストールする .....	3-1
3-2.	WINDOWS ME に対して HOME PNA ドライバをインストールする .....	3-3
3-3.	WINDOWS 2000 に対して HOME PNA ドライバをインストールする .....	3-4
3-4.	WINDOWS 98 SE に対するモデムドライバをインストールする .....	3-5
3-5.	WINDOWS 2000 に対するモデムドライバをインストールする .....	3-7
3-6.	WINDOWS 9X に対するモデムの/国地域設定を選択する.....	3-9
3-7.	WINDOWS 2000 に対してモデムの国/地域を選択する.....	3-10
3-8.	WINDOWS 9X に対する診断 .....	3-11
3-9.	WINDOWS 2000 に対する診断 .....	3-13
3-10.	5.1 チャンネルのオーディオドライバをインストールする .....	3-15

---

---

<b>第 4 章</b>	<b>InterVideo WinRip™ のソフトウェアアプリケーション</b>	<b>4-1</b>
4-1.	WINRIP のインストール	4-1
4-2.	WINRIP の構成	4-6
<b>第 5 章</b>	<b>InterVideo WinDVD™ 2000 ソフトウェアアプリケーション</b>	<b>5-1</b>
5-1.	WINDOWS® 2000 に対して WINDVD™ 2000 ドライバをインストールする	5-1
5-2.	リモートコントロールキット(オプション)	5-2
5-3.	リモートコントローラ(オプション)	5-3
<b>付録 A.</b>	<b>技術サポートの受け方</b>	<b>A-1</b>

---

# 第1章 はじめに

---

AC11 CNR(通信およびネットワークライザー)は 5.1 チャンネルホームシアタースピーカー出力、V.90 アナログモデム、RJ-11 ラインを装備した HomePNA をサポートしています。さらに、通信およびネットワークでコストパフォーマンスの高い柔軟性のある選択を提供することにより、マザーボードの OEM メーカーには PC 市場において新しい機会が生まれてきています。

CNR カードは PCI スロットを共有して、AMR とそのアプリケーションを識別します。追加された機能と優れたハードウェア設計により、システムメーカーは、将来の技術に対する拡張性だけでなく、いくつかのマザーボード加速オプションを利用できるようにもしています。

## 1-1. 仕様

---

### Home PNA

---

#### 1. チップセット

- Intel 82562EH

#### 2. 家庭の電話回線によるネットワーク結合

- 電話回線上での家庭ネットワークのような 1Mb/秒のイーサネットに対して HomePNA PHY を統合
- デュアル HomePNA データ転送速度とデュアル伝送電源レベルに対して、自動サポートを提供
- HomePNA と MII/LAN ポートの間で自動検出をサポート
- HomePNA PHY 割り込み上で割り込みを生成
- HomePNA PHY 内部レジスタに対してソフトウェアによるインターフェースを提供

#### 3. 電源管理および省電力機能

- Microsoft の PC97 ハードウェア設計ガイドおよび PC98 ハードウェア設計ガイドに対するオンナウアーキテクチャの元で、ネットワークデバイスクラス電源管理仕様 Rev.1.0、および通信、デバイスクラス電源管理仕様に完全に準拠
- ネットワークデバイスクラスで定義された全てのスリープ解除イベントをサポート
- 電源管理仕様 Rev.1.0
- ACPI 仕様 Rev.1.0 に完全に準拠
- PCI バス電源管理インターフェース仕様、Rev.1.0 に完全に準拠。

#### 4. ネットワークサイドの機能

- ネットワークポートをサポート: HomePNA 1.0 (1Mbps)

#### 5. オペレーティングシステムのサポート

- Windows 95/98/ME
- Windows NT 4.0
- Windows 2000

---

### モデム

---

#### 1. チップセット

- Conexant 11246, 20463-11

#### 2. 回線接続

- PSTN、2回線

#### 3. データモデム

- V.90 および K56flex
- V.34 (33,600 bps – 2,400 bps)
- V.32bis (14,400 bps – 4,800 bps)
- V.32 (9,600 bps - 4,800 bps)
- V.22bis (2,400 bps - 1,200 bps)
- V.22 (1,200 bps)
- V.23 (75/1,200-600 bps)
- V.21 (300 bps)
- Bell 212A (1,200 bps)
- Bell 103 (300 bps)

#### 4. ファックスモデム

- Group III、Class 1
- Class 1 ファックスエラー訂正モード
- V.17 (14,400/12,000 bps)
- V.29 (9,600/7,200 bps)
- V.27ter (4,800/2,400 bps)
- V.21 (300 bps)

#### 5. エラー訂正

- V.42、LAP-M および MNP 2-4
- データ圧縮
- V.42bis および MNP 5

#### 6. 留守番電話オプション

- 8KHz PCM および IMA ADPCM
- 並行 DTMF 検出
- 音声 Voice/無音の検出

**7. モデム通信モデル**

- 非同期

**8. スピーカーホンオプション**

- 全二重(音響およびラインエコーのキャンセル付き)
- マイク AGC およびミュート機能
- ソフトウェアによる音量コントロール
- 保留時に音楽
- 点滅するフック

**9. ビデオホンレディモデム**

- V.80 同期アクセスモードインターフェース
- 透過およびフレームサブモード
- 音声コールは初めて ProShare 技術を搭載した Intel Video Phone をサポートします

**10. 適応接続のサポート**

- V.8 自動モードネゴシエーション
- V.8 PRIME および V.8bis
- 適応率再ネゴシエーション
- 加速や減速を自動的に調整して、変更ライン状態を構成

**11. 音色検出**

- 発信音、第2発信音
- 折り返しの電話、通話中
- データ/ファックス応答音色
- DTMF

**12. PTT および安全**

- FCC、CE、CTR21

**13. DOS Box Comm. アプリケーションのサポート (TAM オプションで利用可能)**

- データ、ファックス、音声を識別

**14. モデムの自動ダイヤルおよび自動応答**

- はい

**15. モデムの回線品質の監視**

- レベル監視を受信

**16. モデムのプログラム可能な音量コントロール**

- はい

**17. オペレーティングシステムのサポート**

- Windows 95/98/ME

- Windows NT 4.0
- Windows 2000

#### 18. モデムデータインターフェース

- AC'97 準拠 1次/2次選択

#### 19. 電話インターフェース

- RJ-11 を介した PSTN 回線

#### 20. 最小のシステム条件

- 233MHz Pentium II プロセッサ
- 266MHz Celeron プロセッサ
- 233MHz AMD K6 3D now!
- 256K L2 キャッシュ
- AC-Link V.2.1 互換の Core Logic チップセット
- Windows 95/98 (16 MB RAM を搭載)
- Windows NT 4.0/2000 (32 MB RAM を搭載)
- 7 MB の使用可能なディスク容量
- CNR スロット(x1)

---

### 5.1-チャンネルオーディオ

---

- アナログデバイス AD1885 コーデック
- 5.1 チャンネルのホームシアタースピーカー出力をサポート
- AC'97 2.1-準拠
- Soft DVD が Dolby Digital Decoding を提供
- バスインターフェース: CNR バス
- ステレオヘッドホンアンプ
- 90 dB より大きい S/N 比
- オーディオコンバータ: 16-ビットのステレオ全二重コーデック
- ゲーム互換: 全ての標準 Windows ゲームおよびほとんどの DOS ゲーム(リアルモードの DOS)と互換性を備えています
- 1 Hz の解像度で 7040 Hz から 48 KHz までの全二重可変サンプリングレート
- オーディオ入力/出力: マイク入力、ライン入力、内部ヘッダ上に Aux 入力、内部ヘッダ上に CD 入力、G9 スピーカー出力(x1)。
- モノ MIC 入力(組み込み式の 20 dB プリアンプ付)。
- 電源管理のサポート
- デジタルオーディオミキサーモード
- PHAT ステレオ 3D ステレオ拡張機能
- Windows 95/98/ME、Windows NT 4.0、Windows 2000 オペレーティングシステムのサポート

※ 本マニュアルに含まれる仕様と情報は、予告なしに変更されます。



---

## 1-2. 梱包を開ける (パッケージリスト)

---

次のリストをチェックしてください。付属品が破損していたり不足している場合には、お買い上げの販売店に連絡してください。

- (1) AC11 CNR カード
- (1) AC11 インストールおよびユーティリティディスク (CD-タイトル)
- (1) G9 6-チャンネルケーブル
  - 赤いジャック: 前面スピーカーに接続
  - 白いジャック: 背面スピーカーに接続
  - 黒いジャック: 中央スピーカー/サブウーファに接続
- (1) 電話コード
- (1) ユーザーズマニュアル(本書です)
- WinDVD リモートコントローラキット (オプション)



## 第2章 ハードウェアの取り付け

### 2-1. カードのレイアウト

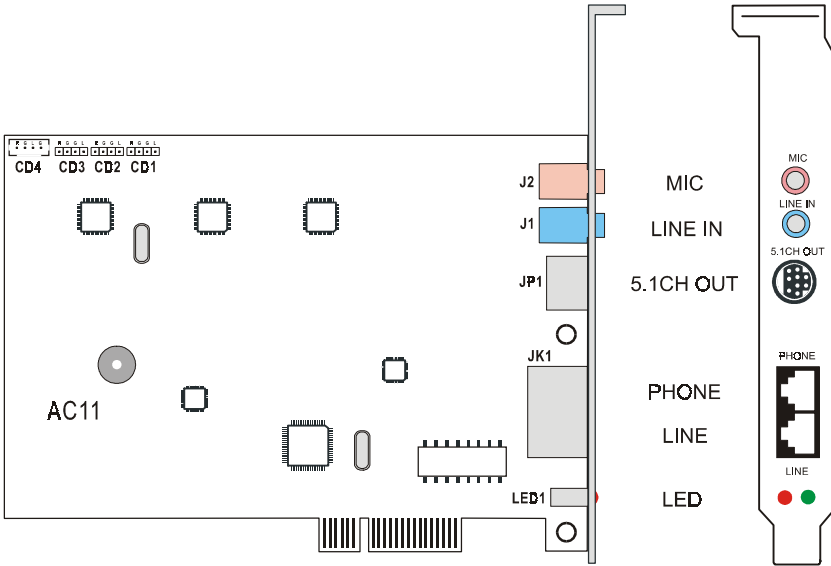


図 2-1. AC11 CNR カードレイアウト図.

## 2-2. コネクタおよびヘッド

- **MIC (J2):** 外部マイクに接続。
- **LINE IN (J1):** 外部オーディオソースに接続。
- **5.1CH OUT (JP1):** 6スピーカーオーディオシステムに接続 (G9 6-チャンネルケーブル付き)。
- **PHONE (JK1):** 電話セットに接続。
- **LINE (JK1):** 電話の壁コンセントに接続。
- **LED1:** 接続状態を表示。
- **CD1 ~ CD4:** 内部 CD-ROM またはその他のオーディオソースに接続。  
 CD1: AUX\_IN  
 CD2: VIDEO\_IN  
 CD3: CD\_IN2  
 CD4: CD\_IN1

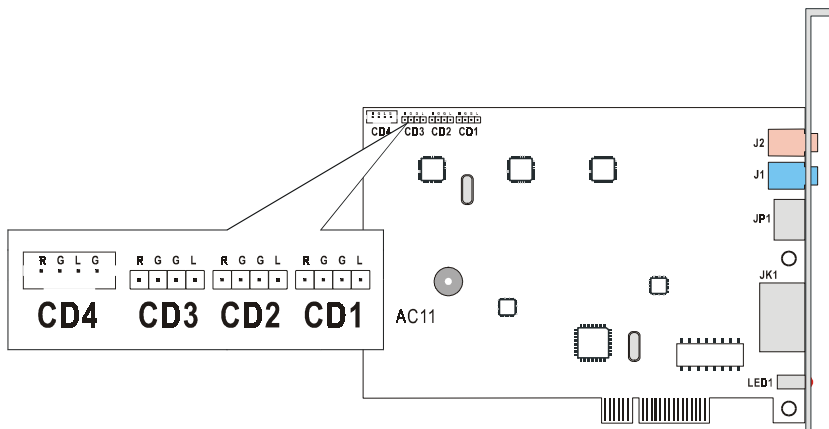


図 2-2. CD1 ~ CD4 ヘッダのピン定義。

## 2-3. カードの取り付け

**ステップ 1.** PCとそれに接続されているすべての外部周辺装置 (例えば、プリンタなど) の電源をオフにしてから、PC システムのカバーを外します。

**ステップ 2.** CNR 拡張スロットをマザーボードに配置します。AC11 は CNR スロットにしか差し込めません。選択した CNR に対応する金属ブラケットを取り外してください。ネジをなくさないでください。

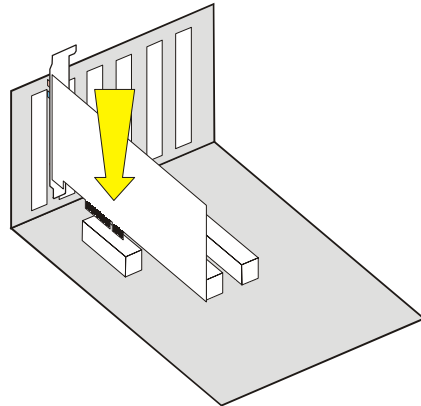


図 2-3. AC11 を CNR 拡張スロットに取り付ける。

**ステップ 3.** AC11 コネクタの側面を下に向けて CNR スロットの位置に合わせます。カードの端をつかんで、AC11 のコンポーネントに力を加えたりしたりせず、カードをスロットに差し込みます。CNR スロットにしっかりそして完全に差し込まれているかどうか確認してください。

**ステップ 4.** AC11 を CNR スロットに固定します。Secure AC11 to CNR slot. CNR カードの取り付けブラケットのノッチを、コンピュータのケースの裏面パネルのネジ穴の位置に合わせます。金属ブラケットから取り外したネジを使用して、CNR カードを所定の位置にしっかり固定してください。

**ステップ 5.** システムカバーを元に戻してください。PC システムを起動する準備ができました。

### 注意

この CNR カードを取り替える前に、スイッチング電源装置から電源を切断しておくことを推奨します。切断しておかないと、再起動した後にシステムがこのハードウェアを検出できないことがあります。この環境下では BIOS を書き換える必要があります。

## 2-4. 電話線をモデムに接続する

- ステップ 1.** 付属の電話コードの一方の端を、“LINE”と表示されているモデムの裏のソケットに差し込みます。
- ステップ 2.** コードのもう一方の端を電話の壁コンセントに差し込みます。
- ステップ 3.** モデムと同じ回線上で自分の電話セットを使用したい場合、電話コードをモデムの裏の“PHONE”と表示されているコンセントに差し込んでください。

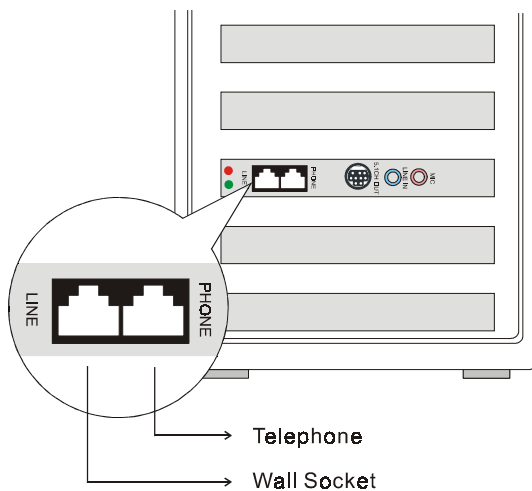


図 2-4. 電話の壁コンセントから LINE 入力に接続してから、PHONE 出力をお使いの電話セットに接続します。  
(Telepone=電話、Wall Socket=壁コンセント)

## 第3章 ドライバのインストール

### 3-1. Windows 98 SEに対してHomePNAドライバをインストールする

Windows システムを正常にインストールし再起動した後に、システムは AC11 CNR カードを自動的に認識します。

#### 注意

オペレーティングシステムがこの新しいハードウェアを検出できない場合、システムを再起動して BIOS セットアップメニューを入力し、AC'97 Codec でオーディオおよびモデムオプションを有効にしてください。



“PCI イーサネットコントローラ”というメッセージが表示されたら、AC11 CD-タイトルを挿入し、[次へ>]をクリックしてドライバを検索します。



[デバイスに最適のドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ>]をクリックして操作を続けます。



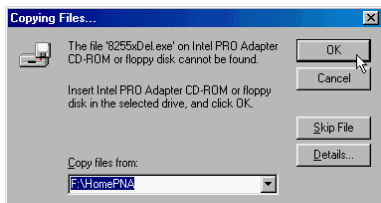
[場所の指定]を選択して、“F:\HomePNA”と入力するか(FはCD-ROMドライブの番号です)、[参照]を使用してドライブを検索します。[次へ>]をクリックして操作を続けます。



Windows が[82562EH に基づいた Phoneline デスクトップアダプタ]に対するドライバを検出したら、[次へ>]をクリックして、インストールを開始します。



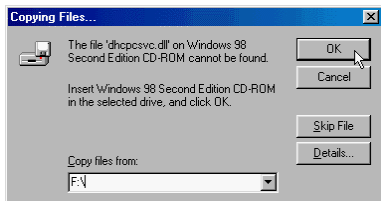
AC11 CD-タイトルを CD-ROM ドライブに挿入して、[OK]をクリックします。



“F:\HomePNA”(F は CD-ROM の番号です)と入力して検索し、[OK]をクリックしてファイルをコピーしてください。



Windows 98 SE CD を CD-ROM ドライブに挿入し、[OK]をクリックして操作を続けます。

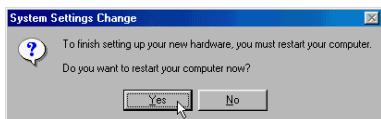


“F:\”と入力して Windows のオリジナルファイルを検索してから、[OK]をクリックしてファイルをコピーしてください。





Windows はこの CNR カード用のソフトウェアのインストールを完了しました。**[終了]**をクリックします。

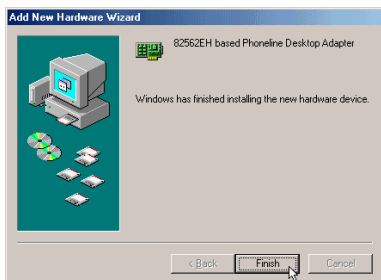


**[はい]**をクリックしてハードウェアのセットアップを完了したら、コンピュータを再起動します。

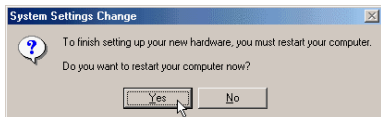
## 3-2. Windows ME に対して HomePNA ドライバをインストールする



[PCI イーサネットコントローラ]というメッセージが表示されたら、AC11 CD-タイトルを挿入し、**[次へ>]**をクリックしてドライバを検索します。



Windows はこの CNR カードのインストールを完了しました。**[終了]**をクリックして、インストールを完了してください。



**[はい]**をクリックしてデバイスのセットアップを完了したら、コンピュータを再起動します。

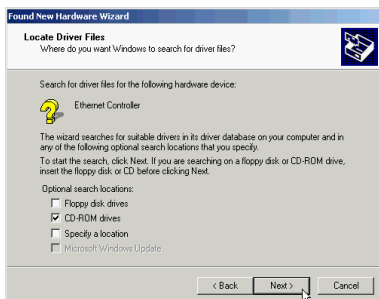
### 3-3. Windows 2000 に対して HomePNA ドライバをインストールする



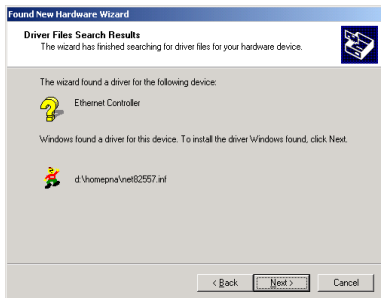
Windows はこの CNR カードを自動的に検出します。AC11 CD-タイトルを CD-ROM に挿入し、[次へ]をクリックして、操作を続けます。



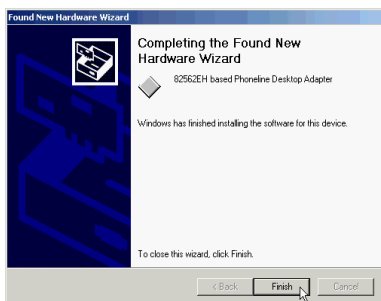
[私のデバイスに最適のドライバを検索する (推奨)]を選択し、[次へ]をクリックして操作を続けます。



[CD-ROM ドライバ]を選択して、[次へ]をクリックし操作を続けます。



WindowsはこのCNRカードに対応するドライバを検出しました。[次へ>]をクリックして、ドライバをインストールします。



WindowsはこのCNRカードに対応するドライバのインストールを完了しました。[終了]をクリックして、インストールを終了します。

### 3-4. Windows 98 SE に対するモデムドライバをインストールする



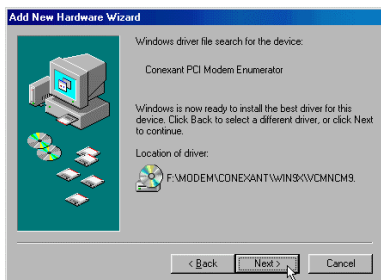
“PCI Card”(または、マザーボードによっては**PCI 通信デバイス**)というメッセージが表示されたら、AC11 CD-タイトルを挿入し、[次へ>]をクリックして、ドライバを検索します。



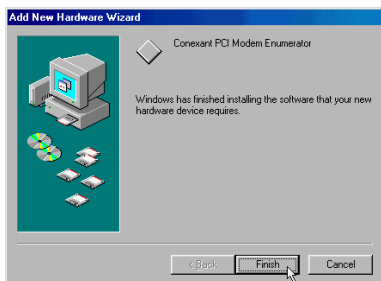
[デバイスに最適のドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ>]をクリックして操作を続けます。



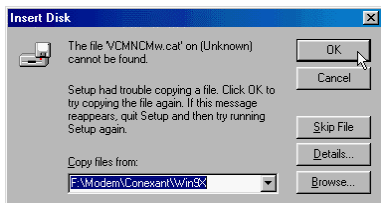
[場所の指定]を選択したら、「F:\Modem\Conexant\Win9X」(FはCD-ROMドライブの番号です)と入力するか、[参照]を使用して、ドライバを検索します。[次へ>]をクリックして操作を続けます。



Windowsが“Conexant PCI モデムエヌメレータ”に対応するドライバを検出したら、[次へ>]をクリックしてインストールを開始します。



WindowsはこのCNRカードに対応するソフトウェアのインストールを完了しました。[終了]をクリックして、システムを再起動します。

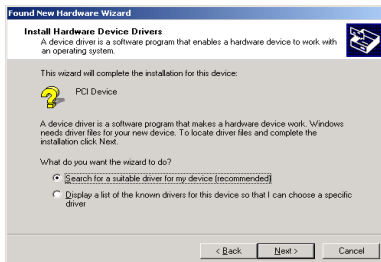


システムを再起動したら、  
**“F:\Modem\Conexant\Win9X”** (F は CD-ROM  
 ドライブの番号です)と入力するか、[参照]  
 を使用して、ファイルを検索します。その後、  
**[OK]**をクリックしてファイルをコピーしま  
 す。

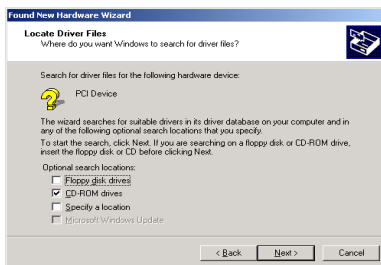
### 3-5. Windows 2000 に対するモデムドライバをインストールする



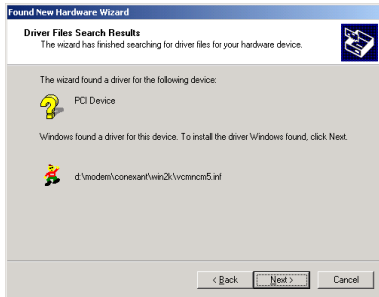
Windows はこの CNR カードを自動的に検出  
 します。AC11 CD-タイトルを CD-ROM ドラ  
 イブに挿入し、**[次へ>]**をクリックして操作を  
 続けてください。



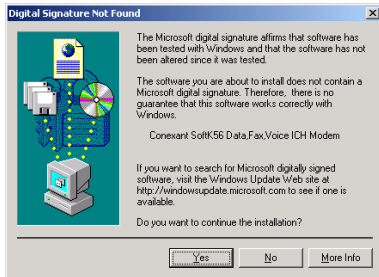
**[私のデバイスに最適のドライバを検索する  
 (推奨)]**を選択します。**[次へ>]**をクリックして、  
 操作を続けます。



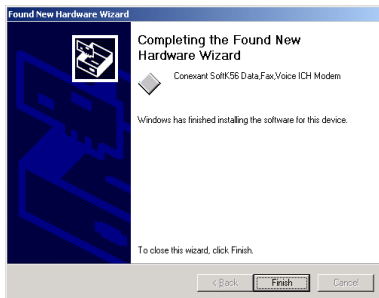
**[場所の指定]**を選択します。**[次へ>]**をクリッ  
 クして操作を続けます。



ウィザードがこのデバイスに対応するドライバを検出しました。**[次へ>]**をクリックして、操作を続けます。

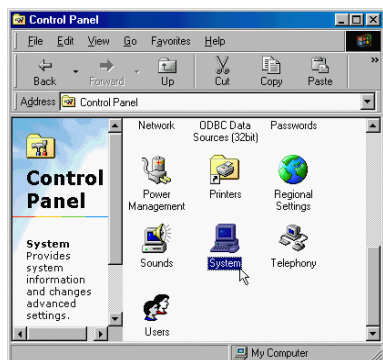


**[はい]**をクリックして、操作を続けます。

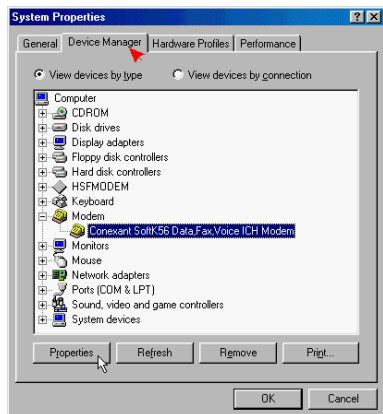


**[終了]**をクリックして、この手順を終了します。

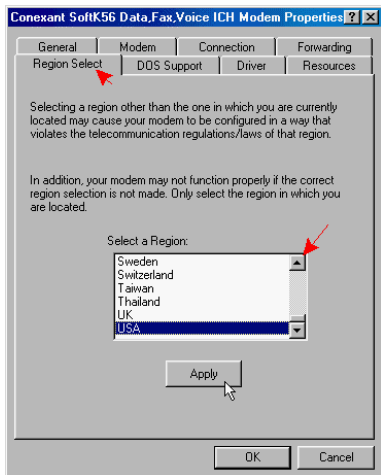
### 3-6. Windows 9x に対するモデムの/国地域設定を選択する



カーソルを[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]に順にポイントして、[コントロール パネル]をクリックします。それから、[システム]アイコンをダブルクリックします。



[デバイス マネージャ]タブをクリックして、“Conexant SoftK56 データ、ファックス、音声 ICH モデム”を選択し、それから[プロパティ]ボタンをクリックします。



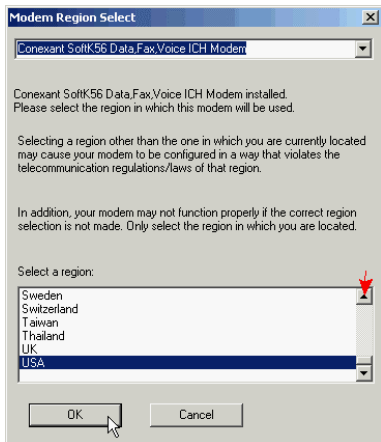
[地域を選択]タブをクリックし、地域の選択リストから国/地域を選択します。[適用]ボタンをクリックして、この設定を確認します。

### 3-7. Windows 2000 に対してモデムの国/地域を選択する



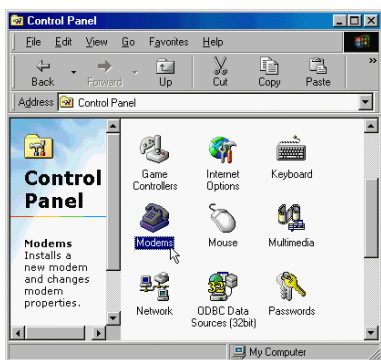
カーソルを[スタート]⇒[設定]⇒[コントロールパネル]に順にポイントして、[コントロールパネル]をクリックします。それから、“HSF モデムの地域選択”アイコンをダブルクリックします。



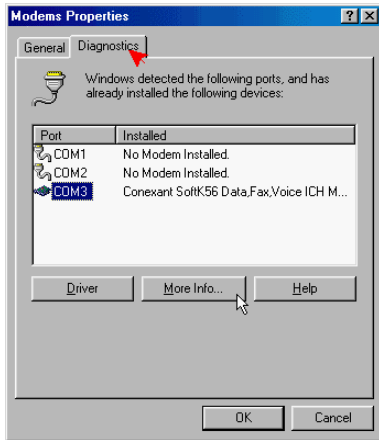


地域リストから国名を選択し、**[OK]**ボタンをクリックしてこの設定を確認します。

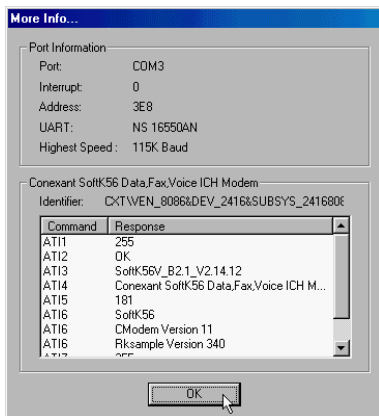
## 3-8. Windows 9x に対する診断



カーソルを**[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]**に順にポイントして、**[コントロール パネル]**をクリックします。それから、**[モデム]**アイコンをダブルクリックします。



**[診断]**タブをクリックします。モデムが設定される“COM Port”を選択します。**[詳細]**ボタンを押して、テストを開始します。

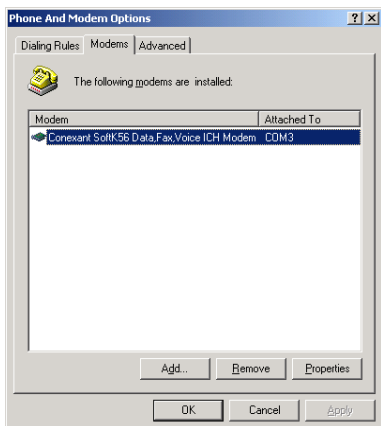


モデムが AT コマンドに応答して正しく機能していれば、モデムは適切に作動しています。**[OK]**を押して、モデムの診断を終了してください。

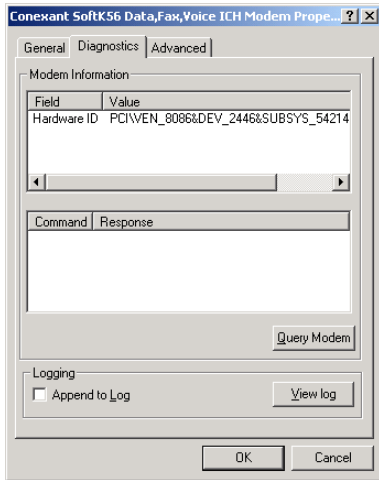
### 3-9. Windows 2000 に対する診断



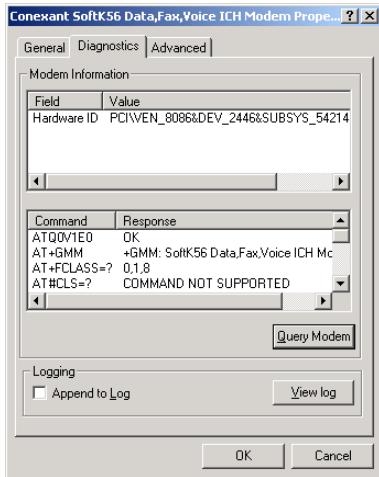
カーソルを[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]に順にポイントして、[コントロール パネル]をクリックします。それから、[電話とモデムオプション]アイコンをダブルクリックします。



[モデム]タブをクリックして、[Conexant SoftK56 データ、ファックス、音声 ICH モデム]を選択し、それから[プロパティ]ボタンをクリックします。



[診断]タブをクリックしてから、[モデムの照会]ボタンをクリックします。



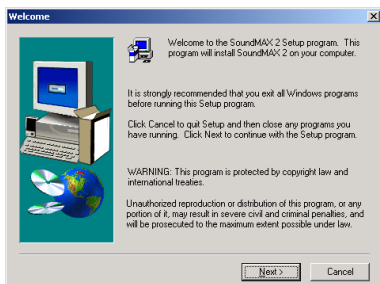
モデムが AT コマンドに応答して正しく機能していれば、モデムは適切に作動しています。  
[OK]をクリックして、モデム診断を終了してください。

### 3-10. 5.1 チャンネルのオーディオドライバをインストールする

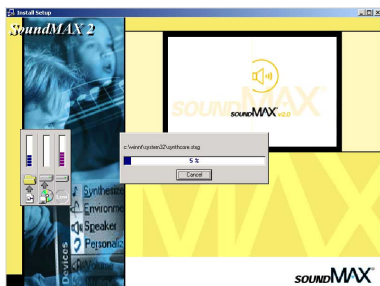
AC11 CD-タイトルを CD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行されます。実行しない場合、この CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行します。実行後、ドライバインストールのページを入力すると、インストールウィザードが表示されます。

#### 注意

5.1 チャンネルのオーディオ出力の効果を得るには、まず DirectX の最新バージョンをインストールしてください。AC11 CD-タイトルには、DirectX 8.0 がバンドルされています。



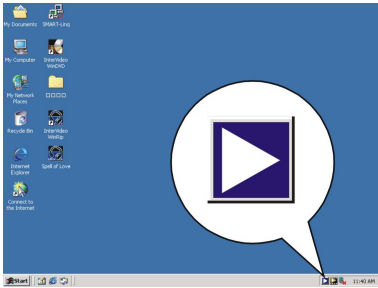
ようこそ、の画面が表示されます。[次へ>]をクリックして、操作を続けます。



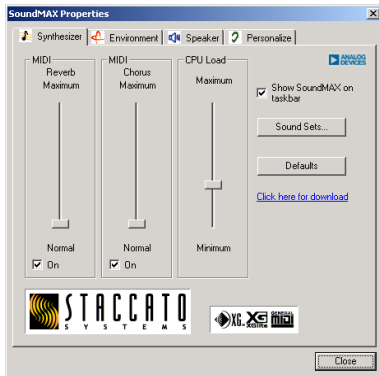
Windows は、SoundMAX に対応するドライバをインストールしています。



Windows はオーディオドライバのインストールを完了しました。**[はい、今コンピュータを再起動します]**を選択して、**[終了]**をクリックします。



システムが再起動すると、タスクバーの右下に **SoundMAX** アイコンが作成されます。



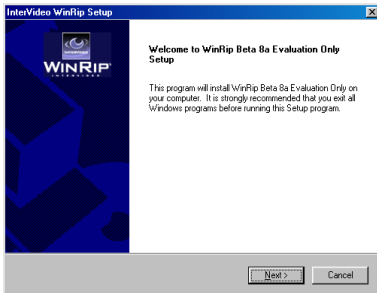
タスクバーで **SoundMAX** アイコンをダブルクリックすると、**SoundMAX** プロパティが呼び出され、サウンドエフェクトをセットアップします。

## 第 4 章 InterVideo WinRip™ のソフトウェアアプリケーション

WinRip は InterVideo が開発したアプリケーションソフトウェアで、MP3、MP2、WAVE、MIDI、および ABIT の 5.1 チャンネル再生デバイス用のオーディオ CD 形式など、現在利用できる全てのオーディオ形式に対して、完全なオーディオ再生と録画環境を提供します。WinRip によって、これらの形式を自由に交換したり変換することができます。

AC11 CD-タイトルを CD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行します。実行しない場合、この CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行してください。実行後、ドライバインストールのページを入力すると、インストールウィザードが表示されます。

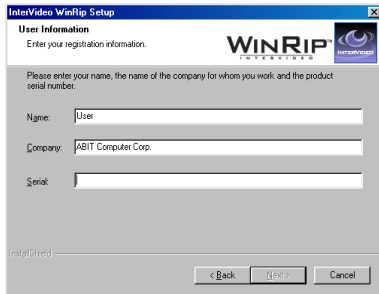
### 4-1. WinRip のインストール



ようこそこの画面が表示されます。**[次へ]**をクリックして、操作を続けます。



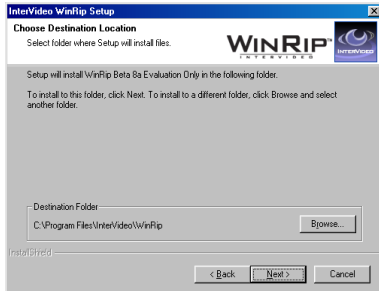
ライセンス契約書を読み、**[はい]**をクリックして操作を続けてください。



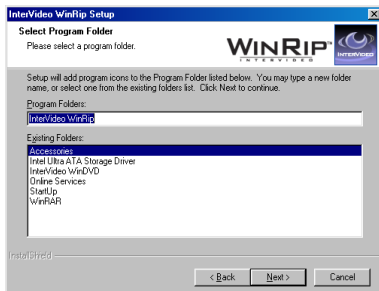
名前を、会社名、このソフトウェアのシリアル番号を入力します。[次へ]を押して操作を続けます。



希望するセットアップ言語を選択します。[次へ]を押して操作を続けます。

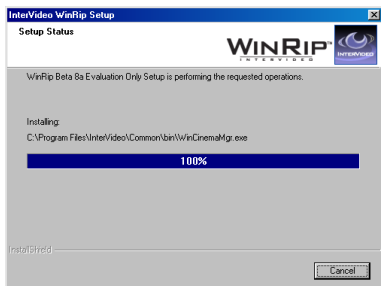


[参照]ボタンを入力して希望する国/地域を選択するか、[次へ]を押して操作を続けます。



希望するフォルダ名を入力するか、[次へ]を押して操作を続けます。





WinRip が今インストールされています。



[スタート]をクリックして、操作を続けます。



自分自身の登録情報を入力し、[次へ>]を押して操作を続けます。または、[キャンセル]ボタンを押して、後で登録することにしてこの手順をスキップし、直接手順 14 にジャンプしてインストールを完了することもできます。



WinRip に関連する拡張子名を選択し、[次へ>]をクリックして操作を続けます。



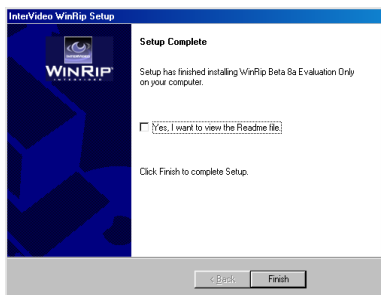
録音した曲の録音パスを入力するか、[次へ>]をクリックして初期値のパスで操作を続けることもできます。



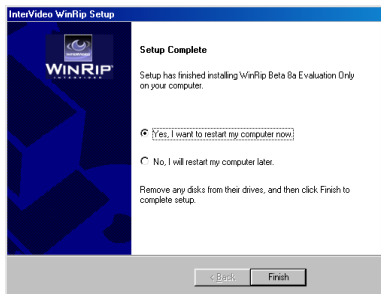
録音のタイプをチェックします。128(初期値)、160、192、224、256、320 kbps のオプションから選択することができます。[次へ>]をクリックして操作を続けます。



**[終了]**をクリックして、インストールを終了します。

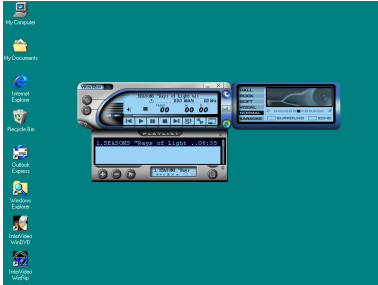


Windows は WinRip のインストールを完了しました。Readme ファイルを表示したい場合にはチェックボックスをマークします。または、**[終了]**をクリックして操作を続けます。

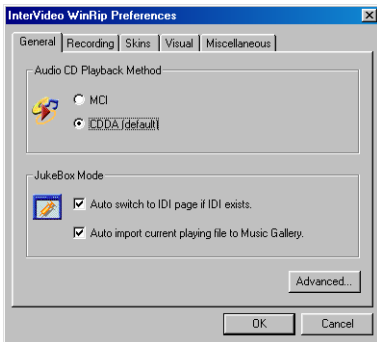


**[はい、今コンピュータを再起動します]**のチェックボックスをマークして、**[終了]**をクリックし、セットアップを完了します。

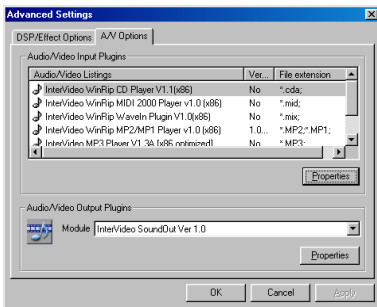
## 4-2. WinRip の構成



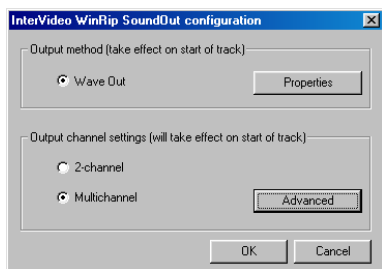
デスクトップの **WinRip** アイコンをダブルクリックします。



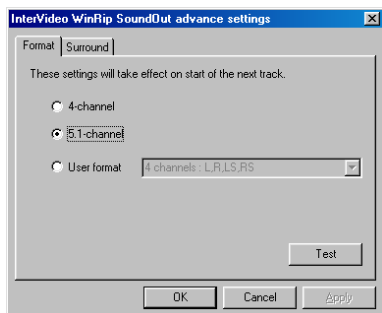
[拡張] ボタンをクリックして操作を続けます。



[A/V オプション] タブを選択し、[オーディオ/ビデオ出力プラグイン]の[プロパティ]ボタンをクリックして操作を続けます。



[マルチチャンネル]のチェックボックスをマークして、**[拡張]**ボタンをクリックします。



5.1-チャンネルを選択して、**[OK]**ボタンをクリックします。

次の3つの画面で**[OK]**ボタンをさらに3回クリックしなければなりません。これは、手順4から手順2に戻るのと同じ手順です。

出力チャンネル設定は、次のトラックを開始すると直ちに有効になります。



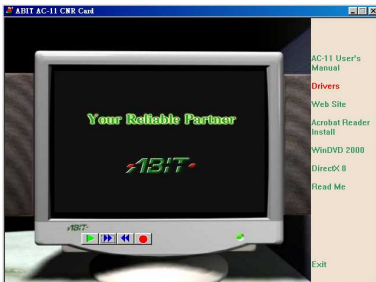
## 第 5 章 InterVideo WinDVD™ 2000 ソフトウェア アプリケーション

### 5-1. Windows® 2000 に対して WinDVD™ 2000 ドライバを インストールする

#### 注意

5.1 チャンネルオーディオ出力を得るためには、まず DirectX の最新バージョンをインストールしてください。CD-タイトルには DirectX 8.0 がバンドルされています。

DVD-ROM をお使いの場合、コンピュータに DVD プレーヤー用のこのソフトウェアをインストールすることができます。AC11 CD-タイトルを DVD-ROM ドライブに挿入すると、プログラムが自動的に実行されます。実行されない場合、CD-タイトルの主ディレクトリで実行ファイルを実行してください。実行後、入力すると、下の画面が表示されます。



カーソルを“WinDVD 2000”に移動し、それをクリックします。これで、コンピュータに InterVideo WinDVD ソフトウェアのインストールが始まります。

**注:** インストール手順の残りについては、オンスクリーンの指示に従ってください。



インストールが完了したら、プログラムはコンピュータを再起動するように求めます。コンピュータを再起動して、[スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]を順番にポイントするか、デスクトップの WinDVD アイコンをダブルクリックして、このプログラムを起動します。すると、左のような画面が表示されます。



左に示すような DVD プレーヤーコントロールパネルを使用して、DVD ムービーを再生することもできます。

この操作に関する詳細については、InterVideo WinDVD プログラムグループのヘルプファイルを参照してください。

### 注意

WinDVD2000 on Windows® 2000 は現在、ステレオモード出力でしか提供されていません。ソフトウェアの更新については、InterVideo ([www.intervideo.com](http://www.intervideo.com)) に連絡してください。

## 5-2. リモートコントロールキット(オプション)

### リモートコントロールキット



レーザーケーブル

リモートコントローラ

このオプションの IR リモートコントロールキットは、WinDVD2000 ソフトウェアで DVD/VCD ムービーを見ているとき、キーボードとマウスの代わりになるものです。

(Remote Control Kit=キモーとコントロールキット/Receiver Cable=レシーバーケーブル/リモートコントローラー)

このリモートコントロールキットは、WinDVD 再生機能をコントロールするだけでなく、Microsoft® PowerPoint™ プレゼンテーションソフトウェア用のポインティングデバイスとしても使用できます。

### インストール手順:

**ステップ 1.** マザーボードの PS/2 ポートからキーボードを取り外します。

**ステップ 2.** レシーバーケーブルの一方の端を、マザーボードの PS/2 キーボードポートに接続します。

**ステップ 3.** PS/2 キーボードコネクタをレシーバーケーブルのもう一方の端に接続します。

**ステップ 4.** IR レシーバーを自分に面したもっとも手の届きやすい場所に置きます。IR 伝送を遮るような物体を間に置かないようにしてください。



## 注意

IR リモートコントロールキットは、ABIT のマルチメディアシステムにバンドルされている WinDVD2000 ソフトウェアのバージョンでしか作動しません。

## 5-3. リモートコントローラ(オプション)

- **On/Off:** 電源のオン/オフ
- **Eject:** ドライブからディスクを取り出します
- **Screen:** 表示画面のサイズを選択します。
- **Title:** サブメニューを開くと、現在再生されている DVD ディスクのすべての利用できるタイトルを表示したり、新しいタイトルを選択して再生することができます。
- **Subtitle:** サブタイトルメニューを表示します。複数の言語のサブタイトルが利用できる場合、このメニューを使用して選択してください。
- **Audio:** オーディオトラックオプションを表示します。複数のオーディオトラックや言語が利用できる場合、このメニューを使用して選択してください。
- **Mute:** 現在再生されているディスクの音声をオフにします。
- **Chap Menu:** 字幕メニューを表示します。
- **Angle:** 利用できるとき、アングルを選択するとオプションのアングルからリストを表示することができます。
- **Volume:** オーディオ出力を増加または減少します。
- **Brightness:** ビデオ出力の明度を増加または減少します。
- **Menu:** メニューの選択を表示します。
- **Up/Down/Right/Left:** マウスボタンやタブキーと同じように、方向ボタンを使用します
- **Enter/Play:** Enter/Play は現在のタイトルを再生し、一時停止の後再生を再開します
- **ESC:** メニュー選択を強制終了します
- **Fast Forward:** 早送りモードでディスクを再生します
- **Stop:** 現在の再生を停止します



- **Pause:** 現在の再生を一時停止します
- **Fast Backward:** 高速の巻き戻しモードでディスクを再生します
- **Previous Chapter:** 前のチャプタにジャンプします
- **Next Chapter:** 次のチャプタにジャンプします
- **Chapter:** サブメニューを開き、現在再生されているチャプタを表示します。このメニューから他のチャプタを選択することができます。
- **Numeric Keypad:** 数値キーパッドでは、数字を選択する方法が提供されています。これは、DVDディスクよりも Video CD を再生しているときによく使用されます。数値を入力するときはいつでも、数値キーパッドで対応するキーをクリックしてから Enter ボタンを押すと、その数字が受け付けられます。

---

## 付録 A. 技術サポートの受け方

---

(Web サイトから) <http://www.abit.com.tw>

(北米) <http://www.abit-usa.com>

(ヨーロッパ) <http://www.abit.nl>

ABIT 製品をお選びいただきありがとうございます。ABIT は流通業者、再販業者、およびシステム統合者を通して全ての製品を販売しており、エンドユーザーへの直接の販売はいたしておりません。技術サポートを受けるために電子メールを出す前に、何らかのアフターサービスが必要かどうか、再販業者かシステム統合者でチェックしてください。彼らはお客様にシステムを販売した当事者ですから、何ができるかを、どのようにアフターサービスを提供すれば将来の購入につながるかを最もよく知っているはずで

当社は全ての顧客に対して感謝の念を持ち、最高のアフターサービスを提供したいと思っています。顧客に迅速なアフターサービスを提供することが、最優先権を持っています。しかし、当社には全世界から多くの電話や膨大な数の電子メールが送られてきます。現在、1 つ 1 つの問い合わせに対応することは不可能です。したがって、お客様が電子メールを送られても返事を受け取っていないことは大いにありうることです。

当社は多くの互換性テストと信頼性テストを行って、自社製品が最高の品質と互換性を備えていることを確認しています。アフターサービスや技術サポートが必要になった場合、どうか当社の抱えている事情を察して、**最初に製品を購入した再販業者にお問い合わせください。**

アフターサービスを迅速に処理するため、当社に連絡する前に、以下に概略する手順に従うことをお勧めします。お客さまのご理解により、**最大多数の ABIT の顧客に対して最高のアフターサービスを提供できることをここに言明いたします。**

- 1. マニュアルをチェックする。**これは簡単に聞こえますが、当社は十分な注意を払ってよく書かれた詳細なマニュアルを作成しました。これには情報が満載されており、マザーボード以外の情報も載っています。マザーボードに付属する CD-ROM には、ドライバだけでなくマニュアルも含まれています。どちらもお持ち出ない場合は、当社の Web サイトのプログラムダウンロード領域、または <http://www.abit.com.tw/download/index.htm> で FTP サーバーにアクセスしてください。
- 2. 最新の BIOS、ソフトウェア、またはドライバをダウンロードしてください。**当社の Web サイトのプログラムダウンロード領域にアクセスして、最新の BISO を使用していることをチェックしてください。これらはバグや非互換性を調整するために長い期間の間に開発されたものです。また、**周辺機器のカードメーカーの最新のドライバを使用していることも確認してください!**

3. 当社の Web サイトで、**ABIT 技術用語ガイド**と **FAQ** をチェックしてください。当社は FAQ をさらに展開して、使いやすく豊富な情報の宝庫にするつもりです。どうぞ、ご意見をお寄せください。最新情報については、当社の **HOT FAQ** をチェックしてください。
4. **インターネットニュースグループ**. これは情報の大供給源で、ここで多くの人々がヘルプを提供しています。ABIT のインターネットニュースグループ、**alt.comp.periphs.mainboard.abit** は、ユーザーが ABIT 製品に関する情報を交換したり、さまざまな経験を話し合うための理想的なフォーラムです。以前、自分が出した質問がまた載せられているのを目にしたことは、一度ならずあるはずですが。これは公共のインターネットニュースグループで、だれでも自由な討議を行うことができます。以下に、ABIT の一般的なニュースグループのリストを一部、紹介します。  
  
[alt.comp.periphs.mainboard.abit](mailto:alt.comp.periphs.mainboard.abit)  
[comp.sys.ibm.pc.hardware.chips](mailto:comp.sys.ibm.pc.hardware.chips)  
[alt.comp.hardware.overclocking](mailto:alt.comp.hardware.overclocking)  
[alt.comp.hardware.homebuilt](mailto:alt.comp.hardware.homebuilt)  
[alt.comp.hardware.pc-homebuilt](mailto:alt.comp.hardware.pc-homebuilt)
5. **再販業者に問い合わせる**. ABIT から認証された流通業者は、お客さまの問題に素早いソリューションを提供できる必要があります。当社は流通業者を通して製品を販売し、流通業者が再販業者や一般商店に販売します。ですから、再販業者はお客さまのシステム構成に熟知しており、当社よりもずっと効果的にお客さまの問題を解決できるはずですが。結局のところ、再販業者はお客さまを今後も当社製品を購入し、友人に購入を勧めてくれる重要な顧客とみなしています。彼らがお客さまのためにシステムを統合し販売したのです。ですから、お客さまのシステム構成とその問題を一番知っているのは彼らなのです。彼らこそ返金および返品ポリシーの責任者といえます。彼らからアフターサービスを受けると、次回の購入に際してもよいアドバイスを受けられるはずですが。
6. **ABIT に連絡する**. ABIT に直接連絡する必要がある場合、ABIT の技術サポート部に電子メールをお送りください。まず、お客さまの最寄の支社のサポートチームに連絡してください。彼らは地元の状況と問題に精通しており、どの再販業者がどの製品とサービスを提供したかについて私たち以上の洞察力を持っているはずですが。毎日膨大な数の電子メールが配信されるといったり、問題を再現するために要求される時間などの、他の理由もありますが、当社では全ての電子メールに返事を出すことはできません。どうぞ、当社が流通チャンネルを通して販売を行っており、すべてのエンドユーザーに対するリソースを持っているわけではないことをご理解ください。また、当社の技術サポートチームの大半にとって、英語が第二言語であるということも心に留めてください。お客さまの質問がすぐに理解されれば、役に立つ回答を得られる機会がそれだけ多くなります。問題を説明するときは、必ず単純で、簡単な表現を用い、まとまりがなく、美辞麗句にとんだ表現はできるだけ避けるように心がけてください。また、システムコンポーネントは常に手元から離さないようにしてください。以下に、当社の支社に連絡する方法を紹介します。

北米と南米の場合は以下に連絡してください:

**ABIT Computer (USA) Corporation**

46808 Lakeview Blvd.  
Fremont, California 94538 U.S.A.

[sales@abit-usa.com](mailto:sales@abit-usa.com)  
[technical@abit-usa.com](mailto:technical@abit-usa.com)

Tel: 1-510-623-0500

Fax: 1-510-623-1092

英国とアイルランドの場合:

**ABIT Computer Corporation Ltd.**

Unit 3, 24-26 Boulton Road  
Stevenage, Herts  
SG1 4QX, UK

[abituksales@compuserve.com](mailto:abituksales@compuserve.com)  
[abituktech@compuserve.com](mailto:abituktech@compuserve.com)

Tel: 44-1438-228888

Fax: 44-1438-226333

ドイツとベルネックス三国(ベルギー、オランダ、ルクセンブルク):

**AMOR Computer B.V. (ABIT's European Office)**

Van Coehoornstraat 7,  
5916 PH Venlo, The Netherlands

[sales@abit.nl](mailto:sales@abit.nl)  
[technical@abit.nl](mailto:technical@abit.nl)

Tel: 31-77-3204428

Fax: 31-77-3204420

上記以外の国の場合は、全て以下に連絡してください:

**台湾本社**

本社に連絡するときは、所在地が台湾で、8+ GMTであることにご注意ください。さらに、休日がお客さまの国とは異なる場合もあります。

**ABIT Computer Corporation**

3F-7, No. 79, Sec. 1, Hsin Tai Wu Rd.  
Hsi Chi, Taipei Hsien, Taiwan

[sales@abit.com.tw](mailto:sales@abit.com.tw)  
[market@abit.com.tw](mailto:market@abit.com.tw)  
[technical@abit.com.tw](mailto:technical@abit.com.tw)

Tel: 886-2-2698-1888

Fax: 886-2-2698-1811

7. **RMA サービス**. 新しいハードウェアやソフトウェアを最近インストールしていないのに、お使いのシステムが実行中に停止する場合、コンポーネントに欠陥があることが考えられます。当該製品を購入した再販業者に問い合わせてください。RMA サービスを受けることができます。
8. **ABIT に互換性の問題を報告する**. 当社では、毎日おびただしい数の電子メールを受け取っているため、何よりもあるタイプのメッセージに重点を置かざるを得なくなりました。この理由で、当社に報告される互換性の問題は、詳細なシステム構成情報とエラー症状を与えることにより、最高の優先順位を受け取ります。その他の質問に対しては、直接お答えできないことを申し訳なく思います。しかし、お客さまの質問はインターネットニュースグループで順番に配置されるため、大多数のユーザーがその情報を恩恵を受けることができます。折りに触れ、ニュースグループをチェックしてください。
9. **技術サポート書式**に必要事項を記入する: お客様が何かの問題に遭遇し、当社の技術スタッフから支援を得る必要がある場合、技術サポート書式に必要事項を記入して、お買い上げの販売店か、当社の技術サポートメールボックスに送信してください。メールボックスのアドレスは[technical@abit.com.tw](mailto:technical@abit.com.tw)です。可及的速やかにお客さまの問題を解決するように努力いたします。また、遭遇した問題も詳細に記述してください。それにより、当社の技術者がお客さまの問題をより速やかに分析することができます。技術サポート書式のアステリスク“\*”でマークされたアイテムの情報が、要求されません。

## 📁 技術サポート書式

🏢 会社名:

☎ 電話番号:

👤 担当者:

📠 ファックス番号:

✉ 電子メールアドレス:

製品名	*	製品ソフトウェアとドライバのバージョン	*
マザボードのメーカー、モデル名とチップセットのタイプ			
オペレーティングシステムのタイプ	*		
ハードウェア名	種類	仕様	
CPUの種類と速度	*		
HDD <input type="checkbox"/> IDE1 <input type="checkbox"/> IDE2			
CD-ROM-ドライブ <input type="checkbox"/> IDE1 <input type="checkbox"/> IDE2			
システムメモリのサイズ (SDRAM)			
アドオンカード			

問題の詳細:

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



ありがとうございます、ABIT Computer Corporation

<http://www.abit.com.tw>